

羽島市民病院

病院の概要

開設時期：昭和30年10月8日

開設者：羽島市

院長名：山田 卓也

病床数：281床

標榜科：内科、腎臓内科、血液内科、内分泌・糖尿病内科、リウマチ科、神経内科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、精神科、小児科、外科、消化器外科、整形外科、脳神経外科、皮膚科、泌尿器科、産科、婦人科、眼科、耳鼻いんこう科、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科、臨床検査科、人工透析内科

医師数：31名

指導医師数：19名

外来患者数：394名/日

入院患者数：182名/日

所在地：羽島市新生町3-246

URL：https://www.hashima-hp.jp/



病院の特徴

当院は岐阜県南部にある2次救急を担う急性期医療と回復期医療を併せ持つ羽島市内唯一の公立病院です。“心のかような医療を通じて地域に貢献します”を病院理念とし、地域の人々の健やかな暮らしをお守りしています。また、一刻を争う救急医療をはじめ26の診療科を標榜し、最新レベルの医療機器や設備を備え、高度な検査や治療が速やかにできる体制を整えています。

当院では、患者さん一人ひとりに対し医師、看護師、薬剤師、理学療法士など必要な分野の医療スタッフがチームを組み、情報交換などを図りながら対応するチーム医療に力を注いでおり、トータルサポートを積極的に推進しています。

院長メッセージ



山田卓也

羽島市民病院では、4名の新規研修医を募集いたします。当院は、新幹線岐阜羽島駅、名神高速道路岐阜羽島インターに近く交通が非常に便利な場所にあり、急性期医療を担当する公立（市立）の病院です。身分は市の正規職員（地方公務員）となります。現在、常勤医師は岐阜大学の出身者が多いのですが、複数の大学の出身者が研修しております。施設面では、病棟は免震・耐震構造となっており、電子カルテ運用及び画像システムを導入しています。研修は、研修医の自主性を尊重し、学会・研修会への参加を積極的に進めています（公費にて）。初期研修修了後には後期研修プログラムがあります。また、研修医専用の研修室、カンファレンス室、仮眠室（女性医師用もあり）を設置しています。救急医療センターでは、年間約2,000台の救急車を受け入れており、研修医1人あたりの救急疾患の症例は多数あります。ぜひとも、一度病院を訪問して雰囲気を確認してください。

プログラム責任者メッセージ

当院は、羽島市（人口約7万人）及び周辺地域の核病院であり、二次救急を担っています。年間約2,000台の救急車を受け入れており、救急の現場を十二分に経験することができます。

一方、超高齢化社会の今、急性期医療だけでなく、回復期・慢性期の医療や在宅・施設入所への橋渡しも重要な仕事です。当院では地域包括ケア病棟もあり、こうした医療も学ぶことができます。

当院では現在1・2年次計7名が研修生活を送っておりますが、地元岐阜大学だけではなく、様々な大学の出身者で構成されています。少人数の利点を活かし、研修プログラムは柔軟に対応可能です。中規模病院である当院では各診療科の垣根は低く、メディカルスタッフの協力も厚く、研修医1人1人に寄り添った研修を病院全体で心がけています。ある程度の時間的な余裕もあるため、疑問点を一つずつ解決しながら、忙しすぎる日々に流されることの無い充実した研修生活を過ごせることと思っております。

名神高速道路岐阜羽島インターや新幹線岐阜羽島駅からも至近です。急性期から高齢者医療まで幅広い研修をお考えの方は、ぜひ一度見学にいらしてください。ご連絡をお待ちしております。

研修医メッセージ

当院のプログラムは自由度が高く、柔軟にローテーションを組むことができます。当院で研修できない診療科に関しては、大学病院などで研修することで大抵の科を選択することができます。当院では common disease を、大学病院などではより専門的な疾患を学ぶことができます。また研修医の人数が比較的少ないため、経験豊富な上級医からマンツーマンで指導を受けられ、望めばいくらでも成長することができます。

研修再開を希望される皆さんへ

当病院では、中途再開者の皆さんへ広く門戸を開いています。研修再開を希望される方は、当病院へお問い合わせください。

研修スケジュール

| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
|-----|--------|----|----|----|----|----|------|-----|--------|--------|----|----|
| 1年次 | 内科 | | | | | | 救急 | | | 必修・選択科 | | |
| 2年次 | 必修・選択科 | | | | | | 地域医療 | | 必修・選択科 | | | |

必修科目（内科24週、救急12週、外科4週、小児科4週、産婦人科4週、精神科4週、地域医療研修4週）の研修を行い、残りの期間は研修医の希望に沿って診療科を必修科または選択科から選択する。

研修協力病院・施設

岐阜大学医学部附属病院（030361）

高山赤十字病院（030366）

河合胃腸科クリニック（032832）

郡上市民病院（076550）

岐阜病院（031627）

長良医療センター（066584）

美濃市立美濃病院

大島内科・内視鏡 CLINIC（032834）

高山市

後期研修・専門研修（予定）

後期研修は、各年次2名ずつ3年間計6名を募集しています。循環器内科、消化器内科、外科・消化器外科、内分泌・糖尿病内科にて後期研修プログラムを準備して応募を受け付けています。

研修プログラムの目標

- 日常的な疾患、外傷に対応できる基本的な診療能力を習得する。
- 適性な診断を行うために日常的な各疾患の重要性と特殊性について理解、習得する。
- 基礎的な疾患の正確な診断と安全な治療を行うための基本的な手技を習得する。
- 基礎的な疾患に対して理解を深め、必要事項を医療記録に正確に記載できる能力を習得する。

研修プログラムの特徴

- 24時間救急医療体制により、研修目標を早期に充実した内容で習得可能である。
- 高度の修練した指導医のもと、熟練した中堅医師から面接指導が受けられる。
- 院内で定期的開催される教育研修講演、セミナー、CPCなどに参加可能また、基礎的な研究発表を通じて手技習得に偏らない研修に配慮している。

募集要項

応募資格：令和9年3月に医師免許を取得する見込みである者・医師免許取得者で、初期臨床研修を修了していないもの

募集人員：4名（予定）

身分：羽島市職員（地方公務員）

給与：給料1年次 約610,000円/月（手当含む）

2年次 約640,000円/月（手当含む）

賞与約960,000円/年（1年次）

約1,500,000円/年（2年次）

その他諸手当有（扶養、通勤、住居、時間外勤務手当等）

住居等：医師住宅有り（一部自己負担有・自治会費、光熱費、駐車場等は入居者負担）、賃貸住宅への入居者については、上限28,000円を支給

保険等：健康保険、年金 岐阜県市町村職員共済組合

連絡先

電話番号：058-393-0111

f a x：058-393-0821

E - m a i l：byoin-somu@city.hashima.lg.jp

交通案内



名鉄竹鼻線竹鼻駅より徒歩7分